



AliceKana

キアタの^{もり}森の おくふかく

^{もり}森のかみさまと よばれる おおきな^き木が ありました。



Alicek an

チマの初めてのぼうけん

ふじしま 藤嶋 えみこ

チマいちぞくは だいたい、
この木に すんでいました。
まいあさ ねもとのほくらに 水を ささげ、
木を きよめ、まもってきたのです。



きょう、チマは 5さいに なりました。
むかしからの ならわしで、5さいを むかえたら
きよめみずの水を くみに いかなくてはなりません。
こわがりな チマは、ふあんな きもちで いっぱいです。

「みちしるべどおりに すすめば、いずみに つくから
だいじょうぶよ。いってらっしゃい」

「カゲネコの いたずらには きをつけるんだよ。
イワネコのところへ つれていられないようにね」

チマは、木のそばを ひとりで はなれたことがなく、
まだ おともだちも いません。

おかあさんと おとうさんは、そんな チマのことが
しんぱいでしたが、あかるいこえで おくりだしました。





AliceKan

^{もり}森のなかは まだ うすぐらく、くらやみから
いまにも なにか とびだしてきそう。

そのとき。

ガサガサッと ^{おと}音がして、


「ひゃあ！ こ、こわいよう……」

チマは しゃがみこんでしまいました。

^{おと}音をたてたのは、おとうさんが

きをつけるよう いていた カゲネコでした。

いたずらする えものを さがして あるいていたようです。



こわくて うごけないまま
じーっとしていると、
あちら こちらから
おんがくが きこえてきました。

くさきが ゆれて
シャン シャラ シャララン

ことりの うたごえ
ピーチチ ピーチチ

むしが リズムを きざみ
ジーツク ジーツク

木のみが ころがり
コンコロ コロリン